

昔探し



1. 8.   
 ★ ちよっぴり寂しくなったら

3. 10.   
 深く息を吸って

1. 8.   
 閉じた目の奥に広がる

3. 8. 10. 10. 3. 5.   
 昔探ししてみよう \*\*

2.   
 コニはどこの景色だったか

5. 10.   
 しとしと降る雨の中

5.   
 顔を上げれば覚えていた...

3. 5. 7. 7.   
 友と歩いていた

7. 9.   
 何も気遣うことなく

0. 7.   
 たたき笑い合う喜び

4. 0.   
 心に刺さる

2. 4. 2.   
 温もりの瞬間

2. 9.   
 向かが足りなくなったら

4. 11.   
 心に深くしまわれた

2. 9.   
 ちよっぴり苦かった思い

4. 9. 11. 11. 4-6.   
 昔探ししてみよう

8. 4.   
 ふとした文字から思出す

6. 11.   
 わずかな期間で知り合っ

8. 6.   
 少しだけの語り

4. 6. 8. 8.   
 残して別れた人

8. 10.   
 自分の中でいまだに

1. 8.   
 解決していない問題

5. 1.   
 心に残る

3. 5.   
 葛藤 確かめる

★ ~ ★★

3. 10. 5 0

3. 10. 5 10. 0

Capo. 3 G  
Capo. 3 ホーソーンD

### 越冬するタテハ

5 0 10 0 5 0 10 0  
G D C D G D C D

7 A Bm 7 0  
A Bm A D

長生きで素早く  
枯葉色の羽の裏

3 F 3 Dm 10 C  
数回羽はたいて見せたあと  
8 Bb 10 C 3 Dm Dm7

真っ直ぐにしっかりと

高く舞い上がる。空から  
再び降りた

5 0  
G D  
まだ花のない枯れたところ

10 C  
ミツで古い水を吸って

5 Em 0 D  
スッと開くいたんだ羽  
10 Am 0 D 5 Em 0 D  
それでも鱗やかた

5 0 10 0 5 0 10 0

7 Bm 7 0  
よく見ると顔の上げ

5 Bm 7 0  
重ねた足が毛に包まれて

10 10  
まるで人の手と同じように

10 10  
ただの足ではなくて

10  
器用に生きてる証が

8 10 10 0  
ただものでないこと知る

5 0  
秋の終わりも最後まで

10 0  
春また浅いころ頃から

5 0  
スッと開くいたんだ羽

10 0 5 0  
それでもしっかりと

# Capo. 1

G#

## 日向ぼっこ

G<sup>5</sup> C<sup>10</sup> D<sup>0</sup> G<sup>5</sup> G<sup>5</sup> C<sup>10</sup> D<sup>0</sup> G<sup>5</sup>

G<sup>5</sup> E<sup>5</sup> Bm<sup>10</sup> C<sup>10</sup> D<sup>0</sup> G<sup>5</sup> 0  
日向ぼっこ 大人になって忘れてたよ

G<sup>5</sup> D<sup>0</sup> Bm<sup>5</sup> E<sup>5</sup> C<sup>10</sup> Am<sup>0</sup> D<sup>0</sup>  
しばらくしてなかった 日の光浴びて

G<sup>5</sup> B<sup>0</sup> Bm<sup>5</sup> E<sup>5</sup> C<sup>10</sup> Am<sup>0</sup> D<sup>0</sup>  
少しはなれたとこには 仰向けになったネコ

Bm<sup>5</sup> E<sup>5</sup> Am<sup>10</sup> C<sup>10</sup> Am<sup>0</sup> D<sup>0</sup>  
外出控えている 感染対策

Bm<sup>5</sup> E<sup>5</sup> Am<sup>10</sup> C<sup>10</sup> Am<sup>0</sup> D<sup>0</sup>  
気がついた時には 家の中 閉じこもり

G<sup>5</sup> C<sup>10</sup> D<sup>0</sup> G<sup>5</sup>  
このころのストレスも

G<sup>5</sup> C<sup>10</sup> D<sup>0</sup> G<sup>5</sup>  
向かが不足してたから

忙しい大人には

こころはゆっくりでいいよ

C G Am G C G Am G

# 1-3L+オープンD

G<sup>5</sup> 0 : G<sup>5</sup> 10 0  
心と体にジーンワリ 温かく

G<sup>5</sup> 0 : G<sup>5</sup> 10 0  
ゴロゴロとするときは こんなに素晴らしい

: G<sup>5</sup> 10 0  
子供の頃には 友達とたくし

: G<sup>5</sup> 10 0  
こんな夜場で ゆっくりと過ごした

G<sup>5</sup> 10 0 G<sup>5</sup>  
こころのイライラも

G<sup>5</sup> 10 0 G<sup>5</sup>  
向かが不足してたから

G<sup>5</sup> 10 0 G<sup>5</sup>  
誰かを傷つけて

G<sup>5</sup> 10 0 G<sup>5</sup>  
手遅れにたらず 良かったよ

G<sup>5</sup> 10 0 G<sup>5</sup>

G<sup>5</sup> G<sup>5</sup> : 10 G<sup>5</sup>  
日向ぼっこ 大人になって初めて気付く

最後になりやっとなつたことは

Em C D Bm Em C D Em

Em  
最後になりやっとなつたことは

D  
ちよつとしたボタンのかけ違いで B7

Em  
あの時のすれ違いの言葉から

D  
取り返しがきかなくなっていた G D7

G C D G D7  
どうせこうなることなら

Em C D G D7  
もつと本音を言えばよかった

どうしてこんなことになったんだろう

同じことを考えていたはずなのに

もしもしたら違う価値観だったと

さみしいけれど諦めるしかない

どうせこうなることなら

無理に合わせることもなかった

時間がたてばまたいつか

連絡できることあるかな

## あかね雲の向こう

G D Em D

<sup>D</sup>お彼岸を過ぎた頃の <sup>Bm</sup>朝まだ寒い中で

<sup>G</sup> <sup>A</sup> <sup>D</sup> <sup>A</sup>  
東空わたるあかね雲

<sup>D</sup>少し前までは暗く <sup>Bm</sup>あかりに照らされた道

<sup>G</sup> <sup>A</sup> <sup>D</sup>  
今は自然の光に

<sup>Dm</sup> <sup>C</sup> <sup>G</sup> <sup>F</sup>  
地平線スレスレ 厚い雲のレカかる

<sup>Gm7</sup> <sup>Dm7</sup> <sup>C</sup> <sup>Dm</sup>  
まるで昨日までの忘れ物のように

<sup>D</sup> <sup>Em</sup> <sup>A</sup> <sup>D</sup>  
でもその向こう 無限の光 思わせる

<sup>G</sup> <sup>D</sup> <sup>Em</sup> <sup>D</sup>  
空いろ包んだ赤く染まる雲

厚い雲 途切れたスキマ 夕かに見えた山の

稜線くっきりわかる

普段では気にもしない 思いもよらない形の

シルエット 浮か出る

遠くの山 近くの屋根 一つにつながらる

まるで人工的なものを覆ってしまふように

でもその向こう 希望の光 思わせる

空いろ包んだ赤く染まる雲

Capo. 5 1-2-1-1-1  
Capo. 3 ホ-7°-D

F

手塩にかけて

Bm 7 5 5 0  
Am G F Dm C

0  
C 7  
G

打算いっけい いっくしみに満ちた

5  
F 0 7  
C G

その本気は 行き渡ってゆくだろう

0  
C 7  
G

手塩にかけて 作り上げたものは

5  
F 0 7  
C G

きっといつか 償わってくれるだろう

Bm 5  
Am F

この言葉で あつてるかな

7  
G 0  
C

思っている このエアース

Bm 7  
Am G

若くして 感じたあの

5 5 0  
F Dm C

こころか 言えなかった

愛さなくて 突き進むといつか

思い通りに ならないとどかし

気持ち忘れず 続けてゆくこと

本当の願... 見つかるかもしれない

このやりかた あつてるかな

精一杯の パフォーマンス

やり終えたら ほんの少しの

こころか できなかった